

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	ごみ処理事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	233,485	239,997		239,481			239,481	5,996
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	81,094	75,233	95,930			95,930	14,836
一般財源	152,391	164,764		143,551			143,551	▲ 8,840

事業概要	7種12分別のごみの安全かつ迅速な収集と市民から施設に直接搬入される可燃ごみ等の受付並びに焼却施設の稼働、維持管理を行うとともに、大気汚染防止法、ダイオキシン対策特別措置法に則り、施設内外の環境対策を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	市民参加のもと、廃棄物の徹底した減量化と資源化に取り組んでいくとともに、焼却施設の適正な管理・運転により、快適で安心できる生活環境づくりを進める。		
現状と背景	焼却施設を平成27年度まで延命させるため、維持補修の費用が大きくなる。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	廃棄物減量等推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,115	1,115		1,115			1,115	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他			1,115			1,115	1,115
一般財源	1,115	1,115						▲ 1,115

事業概要	廃棄物減量等推進員を委嘱し、地域住民へのごみに対する意識向上と分別等への指導を図るとともに、市のごみ行政に対する提言を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	循環型社会を形成するために、地区住民へのごみの分別の指導と徹底を図る。		
現状と背景	分別が定着してきており、推進員の役割が薄れつつある。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	可燃ごみ祝日等収集事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	909	1,105		1,105			1,105	196
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	909	1,105	1,105			1,105	196
一般財源								

事業概要	ごみ有料化の実施に伴い、サービスの還元対策として、祝日等の可燃ごみ収集を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	可燃ごみの収集を(年末年始を除く)、完全週2回とすることを目的とする。		
現状と背景	ハッピーマンデー等のみの収集では、年度によって不均衡が生じる場合もある。収集がない日にも、ごみを持ち出されるケースが多い。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	生ごみ堆肥化促進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,609	2,912		2,987			2,987	378
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他			2,987			2,987	2,987
一般財源	2,609	2,912						▲ 2,609

事業概要	民間堆肥化施設を活用し、家庭から排出される生ごみ、施設に直接搬入される草・枝木類及び小学校、幼稚園、保育所等の給食残渣を堆肥化による資源化を図り、循環型社会を推進する。	今年度見直し事項	
事業目的	ごみ処理の一部有料化及び排出用可燃ごみ袋の有料化を実施し、ごみ減量化という点で大きな成果を得たがリバウンド現象が心配される。今後のさらなるごみの減量化対策として、一般家庭から排出されるごみからは、生ごみが約30%以上を占めていることから、生ごみを分別収集し堆肥化による資源化が最も効果がある。		
現状と背景	事業所ルート、行政ルートは確立されているが、市民ルートの拡大が課題。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	ごみ減量化対策事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	15,004	16,263		12,968			12,968	▲ 2,036
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	15,004	16,263	12,968			12,968	▲ 2,036
一般財源								

事業概要	ごみの減量化と資源化の促進及び財政改革の一環として、排出用可燃ごみ袋の有料化を実施し、有料袋の製作費と販売手数料の支出を予算化する事業。	今年度見直し事項	
事業目的	ごみ処理費が増大する一途にあり、受益者負担の原則、ごみ排出量に応じた費用負担の公平性・平等性の確保の観点から、収集経費の一部を負担していただく形で、可燃ごみ袋の有料化を実施。		
現状と背景	原油の高騰により、袋の製造単価が安定していない。年間製作枚数の把握がむずかしい。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	清掃センター焼却施設整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	58,784	22,872		10,952			10,952	▲ 47,832
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他			9,483			9,483	9,483
一般財源	58,784	22,872		1,469			1,469	▲ 57,315

事業概要	清掃センターの機器を維持管理するとともに、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法に則り、施設内外の環境対策を講じる。	今年度見直し事項	
事業目的	現在の清掃センターは、現段階では、平成27年まで延命化を図る計画である。それまでの間、安定した可燃ごみの焼却処理を目的とした維持補修が必要である。		
現状と背景	鳥取県西部圏域の可燃ごみ処理について、最終的な広域化計画は未定であるが、平成28年度以降の米子市への本市の可燃ごみの受け入れに対して、米子市クリーンセンター地元自治会の合意が得られたところである。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	ごみ固形燃料化事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	3,079	4,251		4,251			4,251	1,172
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他			4,251			4,251	4,251
一般財源	3,079	4,251						▲ 3,079

事業概要	清掃センター・リサイクルセンターに直接搬入される衣類・布団類・木製家具類を民間業者で固形燃料化・チップ化を行い、製紙会社等のボイラー燃料として再利用を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	近年、排出される衣類、布団類、木製家具類が増える傾向にある。リサイクルセンターで破砕、清掃センターで焼却処理するより、固形燃料化等をして再利用するほうがコストが安いことや、循環型社会推進の効果が見込める。		
現状と背景	固形燃料化が増える傾向である。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	清掃車等更新事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		11,511						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		11,511					

事業概要	清掃センターのごみ収集車等を更新する。	今年度見直し事項	
事業目的	旧車両を更新し、ごみ収集業務等を円滑に行うことを目的とする。		
現状と背景	旧車両については、修繕を繰り返し使用しているが、機器の劣化などにより効率よく作業することが出来ない。	その他	



会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	清掃事務人件費
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	125,035	130,865		130,865		1,223	132,088	7,053
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	3,864	3,296					▲ 3,864
一般財源	121,171	127,569		130,865		1,223	132,088	10,917

事業概要	清掃センター、リサイクルセンター、浄化センターの職員の人件費	今年度見直し事項	
事業目的	清掃センター職員14名、リサイクルセンター職員4名、浄化センター職員3名の人件費		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(清掃費)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	213,547	215,505		215,505		▲ 18,632	196,873	▲ 16,674
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	213,547	215,505		215,505		▲ 18,632	196,873

事業概要	鳥取県西部広域行政管理組合で運営する灰溶融施設(エコスラグセンター)及び最終処分場に係る経費を当該組合の分賦金規則に基づいて、その区分に応じた負担金を関係市町村が支出する。	今年度見直し事項	
事業目的	当該組合に加入する市町村から排出された焼却灰及び不燃残渣等を灰溶融施設で熔融処理後スラグ化し、各廃棄物残渣の無害化、減容化、再資源化並びに最終処分場の延命化も図り、圏域住民の生活環境の向上を目的とする。		
現状と背景	エコスラグセンターの維持管理費の高騰及び民間の最終処分場の受け入れ協定の更新等の問題が生じている。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	汚染負荷量賦課金(清掃センター)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	394	393		393			393	▲ 1
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	394	393		393			393

事業概要	公害健康被害の補償等に関する法律に基づき汚染負荷量賦課金を支出する。	今年度見直し事項	
事業目的	公害による健康被害者の迅速かつ公正な保護を図ることを目的とする。		
現状と背景	清掃センターの排ガス中には、微量の硫黄酸化物が含まれているため、汚染負荷量賦課金を支出する義務が生じる。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	廃品回収奨励金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	159	159		120			120	▲ 39
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他			120			120	120
一般財源	159	159						▲ 159

事業概要	廃品回収を行っている団体に廃品回収量に応じた奨励金を交付する。	今年度見直し事項	
事業目的	廃品回収を実施した団体に対し、奨励金を交付し、家庭等から出る不用物の再生利用を促し、併せごみの減量化を推進する。		
現状と背景	市民の分別が定着化し、実施する団体が減少し固定化してきている。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	ごみ集積施設整備事業補助金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	560	560		560			560	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	560		560			560	
一般財源		560						

事業概要	ごみ集積所に、ごみ箱を設置する場合に設置費用の一部を補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	集積所のごみ散乱防止し、衛生管理及び環境美観を保ち環境の保全を図る。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	1	塵芥処理費

所管課	環境衛生課
事業名	軟質プラスチック類分別事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		17,421		12,809			12,809	12,809
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他		7,260	12,809			12,809	12,809
一般財源		10,161						

事業概要	可燃ごみには、まだまだ多くの資源として利用できる軟質プラスチックが含まれている。循環型社会を推進していく目的と、28年度から米子市に処理委託することになっているが、米子市には発泡スチロールの搬入ができないため分別の必要があり、あわせて軟質プラスチックを分別し、固形燃料化により再資源化を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	資源として利用できる軟質プラスチックの分別を行い、さらなる資源化を図り、28年度から米子市に委託する可燃ごみとして受け入れ可能なごみ質とし、さらに可燃ごみを減らすことにより処理委託料を抑えることと循環型社会の推進を図る。		
現状と背景	本市では、発泡スチロールを可燃ごみとしているが、平成28年度より可燃ごみを米子市に焼却処理委託するにあたり、米子市では発泡スチロールを可燃ごみとせず、分別収集しているため、本市においても、発泡スチロール分別が必要であることから、本事業に取り組むものである。	その他	